

農業・農村のいろいろな働き（多面的機能）などに関するアンケート調査結果

農村振興課・里川振興課

1 調査目的

県では、農業・農村の持続的な発展に向け、多くの人に「農業・農村のいろいろな働き（多面的機能）」を理解していただくための取り組みを実施しています。これについて、県民の皆さまの意識や意向を把握し、今後の施策運営の基礎資料として役立つため、アンケート調査を実施しました。

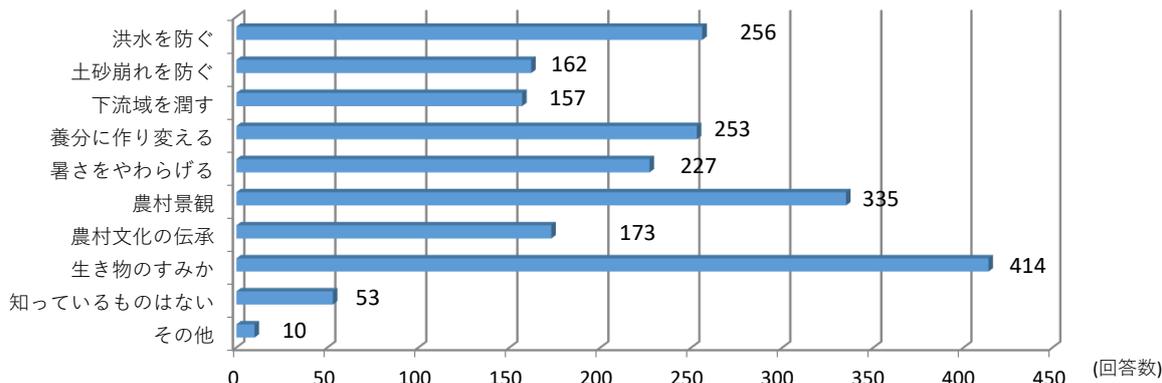
2 調査対象など

調査対象：県政モニター833人（うちインターネットモニター505人）
調査方法：郵送及びインターネット
調査期間：令和2年12月3日～12月21日
回収結果：577人（回収率：69.3%）
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

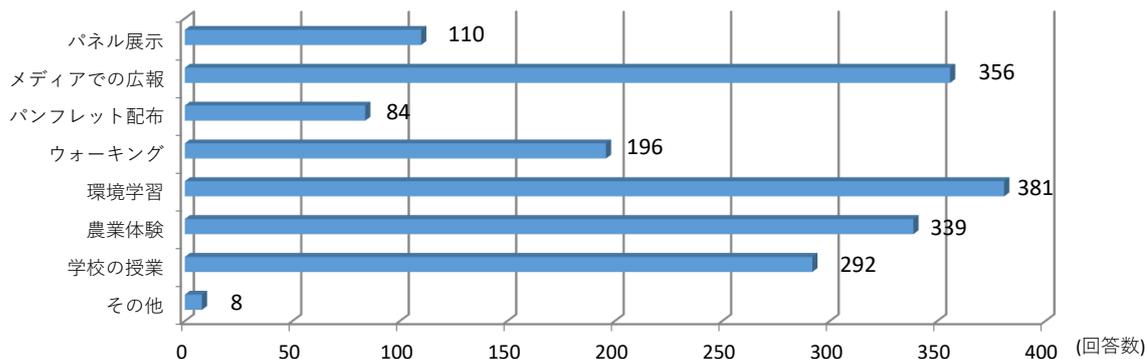
3 結果概要

○ 多面的機能について知っているものについて

多面的機能を1つ以上知っている → 90.7%
多面的機能を知らない → 9.3%

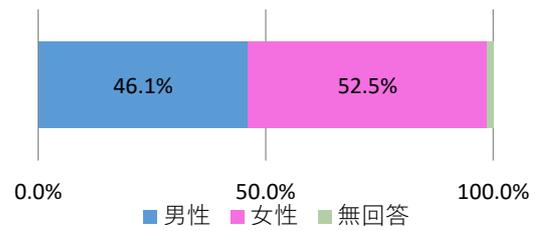


○ 多面的機能を理解するために必要な取り組みについて

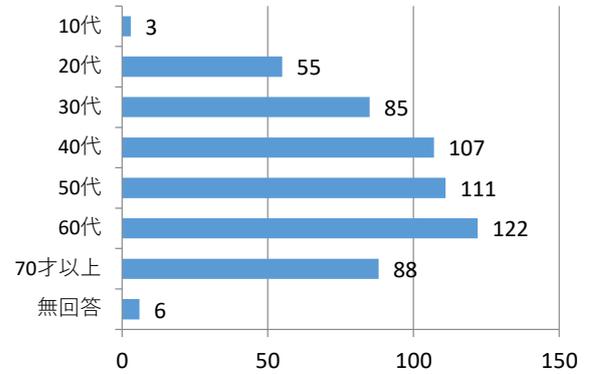


4 回答者属性

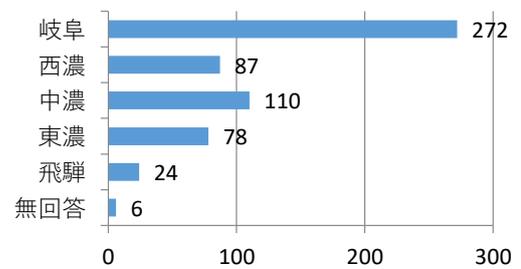
性別	人数	割合
男性	266	46.1%
女性	303	52.5%
無回答	8	1.4%
計	577	100.0%



年代別	人数	割合
10代	3	0.5%
20代	55	9.5%
30代	85	14.7%
40代	107	18.5%
50代	111	19.2%
60代	122	21.1%
70才以上	88	15.3%
無回答	6	1.0%
計	577	100.0%



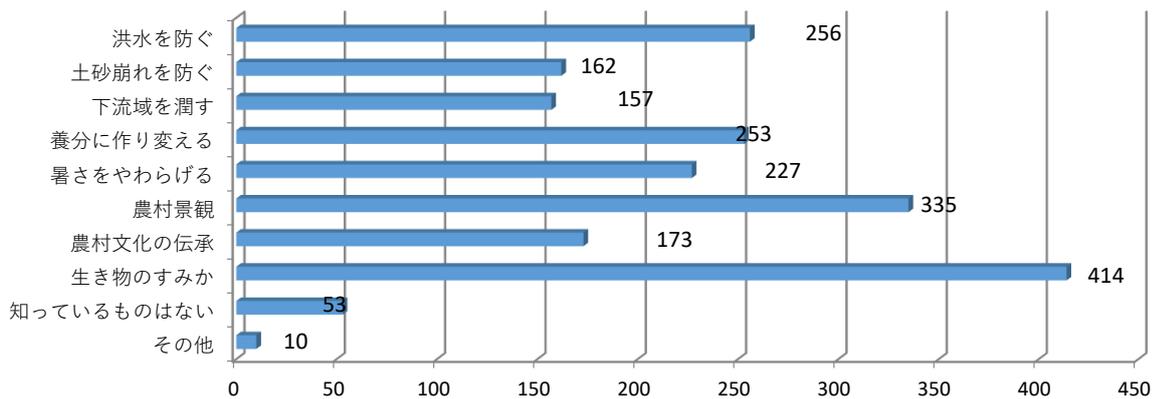
居住圏域別	人数	割合
岐阜	272	47.1%
西濃	87	15.1%
中濃	110	19.1%
東濃	78	13.5%
飛騨	24	4.2%
無回答	6	1.0%
計	577	100.0%



5 調査結果

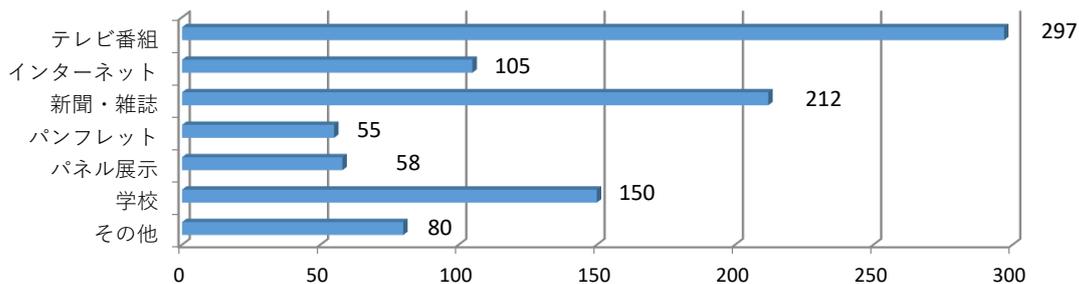
問1 農業・農村が持つ働き（多面的機能）について、農作物を作る働き以外で、あなたが知っているものを次の中からすべてあげてください。（複数回答）

回答者=570	回答数	割合
田んぼが雨水を一時的にためることにより、洪水を防ぐ働き	256	44.9%
山間部の田んぼが土砂崩れを防ぐ働き	162	28.4%
田んぼにたまった水が地下水となり下流域を潤す働き	157	27.5%
田んぼや畑の土の中にいる微生物が生ゴミなどを肥料に変える働き	253	44.4%
田んぼの水が暑さをやわらげる働き	227	39.8%
美しい農村景観が癒しや安らぎをもたらす働き	335	58.8%
祭りや伝統行事などの農村文化を伝承する働き	173	30.4%
田んぼや水路などが生きもののすみかになる働き	414	72.6%
知っているものはない	53	9.3%
その他	10	1.8%
計	2,040	



問2 （問1で「知っているものはない」以外と答えた方）問1で答えた働きについて何で知りましたか。（複数回答）

回答者=486	回答数	割合
テレビ番組	297	61.1%
インターネット（国や県のホームページなど）	105	21.6%
新聞・雑誌	212	43.6%
パンフレット	55	11.3%
農業祭等におけるパネル展示	58	11.9%
学校	150	30.9%
その他	80	16.5%
計	957	

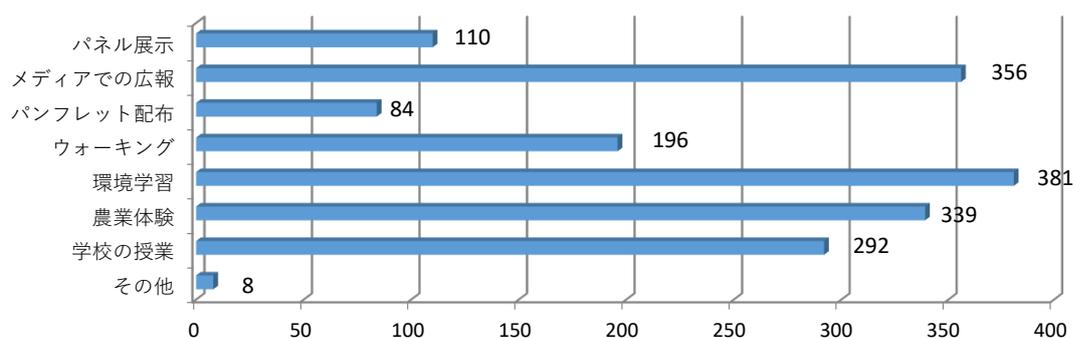


（その他 主な意見）

- ・実際の農作業を通して。
- ・家庭や仲間との会話の中から。子供のころ、親から話を聞いた。
- ・両親が農業従事者、農村にすんでいる（実家が農山村にある。）

問3 あなたは、農業・農村のいろいろな働き（多面的機能）を理解するには、どのような取り組みが有効だと思いますか。（複数回答）

回答者=569	回答数	割合
イベントでのパネル展示	110	19.3%
メディアでの広報（テレビ・新聞・雑誌 等）	356	62.6%
パンフレットの配布	84	14.8%
農村でのウォーキングなどのイベント	196	34.4%
子供や地域住民への環境学習（田んぼや農業用水路 等）	381	67.0%
農業体験などの農村での体験イベントの推進	339	59.6%
学校の授業	292	51.3%
その他	8	1.4%
計	1,766	

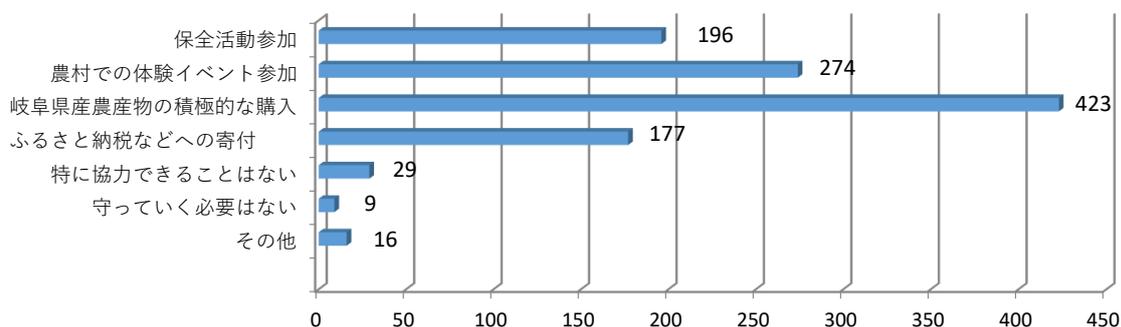


（その他 主な意見）

- ・休農地を利用した農業再復活の為の田・畑のレンタル
- ・体験できる場の創設
- ・地元の物産市

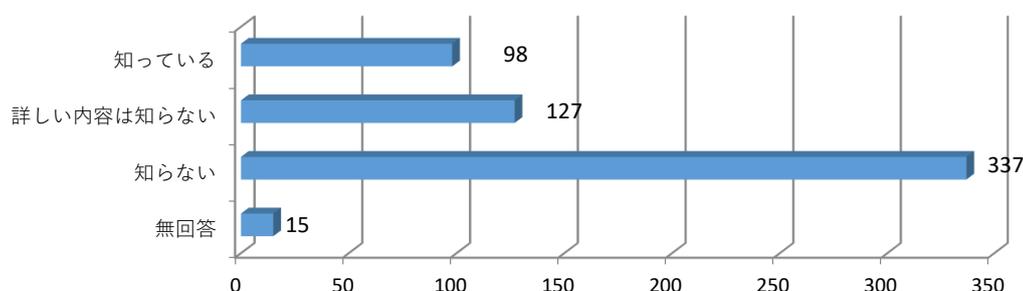
問4 農業・農村のいろいろな働き（多面的機能）を守っていくために、どのような形で協力することができますか。（複数回答）

回答者=569	回答数	割合
保全活動への参加	196	34.4%
農村での体験イベントへの参加	274	48.2%
岐阜県産農産物の積極的な購入	423	74.3%
ふるさと納税などへの寄付	177	31.1%
特に協力できることはない	29	5.1%
守っていく必要はない	9	1.6%
その他	16	2.8%
計	1124	



問5 国際社会では、世界的に重要な農林水産業システムを、後世に引継ぐことを目的として「世界農業遺産（GIAHS（ジアス）」に認定する制度があります。あなたは、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことをご存じですか。

回答者=577	人数	割合
知っている	98	17.0%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	127	22.0%
知らない	337	58.4%
無回答	15	2.6%
計	577	100.0%



問6 「農業・農村のいろいろな働き（多面的機能）」に関するご意見、ご感想などがございましたら、お聞かせください。

- ・田畑農家を守るためにも、県は、金銭以外に農機具等のハード面や収穫時期の収穫できる人材の派遣などで補助をするなどして、保護してもらいたい。
- ・自宅の畑で細々とやる農業への助言制度の設立、ウェブを生かした講習の開催を行政に支援してほしい
- ・高齢化がますます進行する中で、農村を守ることをもっと真剣に考えたいし、行政に対しては、更に積極的な施策をしていただきたい。私は岐阜県の田舎生まれですが、農地が荒れていくのを見るのは、本当に辛いし、不安を覚える。
- ・友人や家族などと気軽に参加できるイベントがあると、楽しみながら知識を得られる。学生時代に体験できる機会が多い方がおとなになってからも知識が残り、興味を持ちやすいと思う。
- ・人口減少・高齢化などにより個人や地域任せの多面的機能の継続・推進には限度がある。クラウドファンディングなどを活用したモデルや仕組み作りが必要と考える。
- ・多面的機能補助金を活用して棚田の保全、農村環境の維持に努めている。できる限り活動に参加しているが都市部の人々の「マンパワー」を活用できるシステムがあるとよい。
- ・主食の米の自給率を維持。農業+自然エネルギーの活用等次世代の農業を皆で考え教育においても農業の大切さを教えてほしい。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。